#### Abstract:

#### JP 54-120755

As shown in FIG. 4, a heat pipe is provided with a cylinder portion 6 and a connection portion 5. The cylinder portion 6 is made for easily installing heat sinks. The connection portion 5 has a cross-section shaped for easily connecting to a heat source (electronics). The cross-section of the connection portion 5 can be long-round, semi-round, square or other shapes like number (4), (5) in FIG. 6.



### 実用新案登録願

(3,000円)

53. 2.13 昭和 年 月 日

特許庁長官 殿

- 1. 考案 名称 ヒートペイプ
- 2. 考案者 居所神奈川県川崎市中原区下小田中 629番地 神電線株式会社内 氏名 獨容質勇(他2名)
- 3. 実用新案登録出願人

住所神奈川県川崎市中原区下小田中 629番地名称 葡萄椒株式 会 社代表者 取締役社長 新堂 交 哲

4. 代 理 人

居 所 (〒-105) 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号

沖電気工業株式会社内

氏 名 (6892)

4理十

鈴木敏明。

電話 (501) 3111大代表

54-120725

ָלָד לֶלָד

(2)

53 015734/

1. 考案の名称

ヒートパイプ

2. 実用新案登録請求の範囲

円形断面部に連続した異形断面部を有するコン 5 テナを用いて成るヒートペイプ。

3. 考案の詳細な説明

本考案は、円筒形ヒートパイプの改良に関する もので、ヒートソース(熱源)との接続を改良す ることにより冷却(放熱)効果を高めることを目 10 的としたヒートパイプである。

一般に、LSI,IC,パワートランジスタなどの電子機器の冷却において、ヒートパイプを用いて冷却効果を高める手段が採られているが、通常、ヒートパイプは円筒形状を有しており、LSI, 15IC,パワートランジスタ類は平形形状を有しているものが大半なので、これら電子機器にヒートパイプを実装する場合、ヒートパイプと電子機器を接続するのに、円筒形ヒートパイプでは、接触面積が十分に採れず、実装上困難を極めているの 20

(1)

40-120M

が実情である。

従来、これらの解決策として、次のような法が採られている。すなわち、第1図1にフラグ2に示すように、円筒形ヒートパイプ1と電子とかプロックをを入りまとの接触である。とは大きのはなった。なかして接続した場合、としてが大きくなり、放熱ないら次点を有して発揮されないという欠点を有していた。

この欠点を解消する目的で、第3図に示すような矩形状を有するヒートパイプが開発されてかる。このとことは、確かにしている。というではないではないで、超常ヒートの熱抵抗を小さくするとして出いる場合に、矩形ではいる場合に、矩が極めて難しく、特殊な取り付けるといればならない。

20

10

15



本考案は、これらの欠点を一挙に解消するもの で、ヒートソース側の断面形状をヒートソースと 形状に合せた異形断面とし、ヒートソースとと 触面積を拡大し、熱抵抗を小さくし、且つ、ヒートシンク側の断形状を円形形状としてその 上に放熱板を取り付け易くしたとを特徴とする ヒートペイプを提供しようとするものである。 下、実施例に基づいて詳細に説明する。

第4図,第5図はそれぞれ本考案ヒートパイプの実施例を示す図である。第4図において、5は平形ヒートソースとの接続を容易にするための矩形面を有する部分で、6は放熱板の取付けるである。第5図におを容易にするための第6図(1)に示した長円形断面を有する部分で、6,6は放熱板を長円形部5'の両側に取り付けることを容易にする円筒部分である。

尚、以上の実施例では異形断面形状として矩形 および長円形の例を示したが、この異形断面形状 としては、ヒートソースの形状に合わせて、第5

20

15

10

図に示すような半円形(2),正方形(3)あるいは場合によっては(4),(5)のような形状等とすることは一向にさしつかえない。また、本説明では異形断面部分をヒートソースとし、円筒部分をヒートシンク側として用いても何等さしっかえない。

10

15

20

(4)



圧入して放熱板とした。このヒートパイプをパワートランジスタの放熱に用いたところ極めて良好な放熱特性を示した。

以上説明したように、本考案のヒートパイプを 用いれば、各種形状を有するヒートソースに対し て、大きな接触面積をもたせて直接に容易に実装 できるので、その効果は多大である。

5

10

#### 4. 図面の簡単な説明

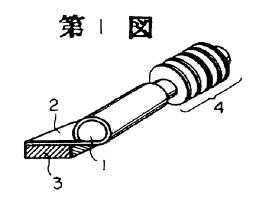
第1図および第2図は、従来の円筒形ヒートパイプを電子機器に実装した例を示す斜視図、第3図は、平形ヒートパイプの斜視図、第4図および第5図は、本考案の異形断面部を有するヒートパイプの斜視図および側面図、第6図は、異形形状例を示す図である。

1 … 円筒形ヒートペイプ、 2 … フラグ、 2' … ブ 15 ロック、 3 … ヒートソース、 4 … 放熱板(ヒート シンク)、 5 , 5' … 異形断面部分、 6 , 6' … 円 筒部分。

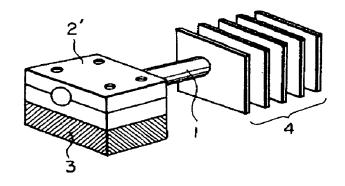
実用新案登録出願人 沖電線株式会社 代 理 人 鈴 木 敏 明 (5)

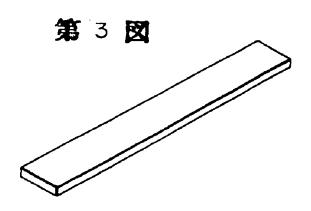
, ,

## 公開実用 昭和54— 120755



### 第 2 図

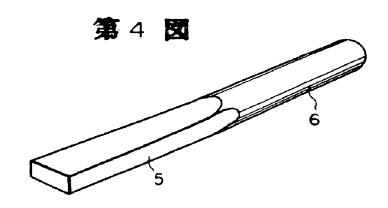




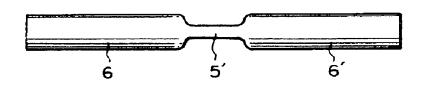
120755K

美用新桌 登録出額人 冲气管 服 株式 会社

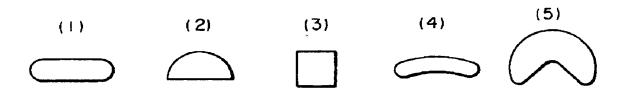
代理人 鈴 木 敏 明章



第 5 図



第 6 図



12075万%

実用新業登録出職人 沖電線株式会社

代理人 鈴 木 敏 明

5. 添付書類の目録

- (1) 明細書
- 1 通

(2) 図

- 1 通
- (3) 委任状
- 1 通 (追つて補充する。)
- (4) 願書副本
- 1 通

6. 前記以外の考案者

カプパキ シナから クジモコ ダナカ 居 所 神奈川県川崎市中原区下小田中 629 番地

> <sup>オキ デン セン</sup> 沖 電 線 株 式 会 社 内

フル ヤ ビデ オ 氏名 古 谷 秀 夫

居所 同 所

面

フル タ タケ オ 氏名 古 田 武 夫



44-1207

# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record.

### **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:
D BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
OTHER:

### IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.